

海外安全対策情報（平成28年度第3四半期）

1 社会・治安情勢

（1）テロ関連動向（インドネシア国内情勢）

10月20日、ジャカルタ近郊タンゲラン市の警察官詰所にて、一名の男が警察官複数名を刃物で襲撃して負傷させ、警察官に射殺されるというテロ事件が発生しました。

また11月13日には、東カリマンタン州サマリダ市の教会において、一名の男が教会入口の前庭付近に火炎瓶を投げ、幼児1人が死亡し3名が負傷するというテロ事件が発生しています。

これらテロ事件の発生に加えて、国内各地においてテロリストが複数逮捕または射殺されており、逮捕された者らの供述から彼らがクリスマスや年末にテロを計画していたことが明らかになっています。

（2）デング熱への注意

デング熱が流行しており注意が必要です。当地保健当局によれば、10・11月ともに約600名の患者数で推移しているとのことですので、引き続き防蚊対策を徹底するなどしてデング熱の予防に努めて下さい。

（3）麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の摘発を強化しており、バリにおいても逮捕事案が続いています。薬物には絶対に関与しないようにして下さい。また、薬物が使用されているような危険な場所には近寄らないようにしてください。

（4）デモへの注意

デンパサール市内を中心として、ブノア湾埋め立てに対する抗議デモが週末を中心に開催されています。現在までのところ大きな混乱等は発生していませんが、今後過激化する可能性もあり注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）犯罪傾向

観光客が多く集まるクタ・レギャン地区を中心に、外国人旅行者を狙ったと見られる「ひったくり」「集団スリ」といった盗難被害が依然発生しています。

また、上記エリア以外でもバイク使用の犯人によるひったくりが多数発生しています。

（2）邦人被害事案

邦人に対する一般犯罪の事例については、月ごとに安全対策情報として総領事館ホームページに掲載しています。

- 3 テロ・爆弾事件発生状況
テロ・爆弾事件は発生していません。

- 4 誘拐・脅迫事件発生状況
誘拐・脅迫事件は発生していません。

- 5 日本企業の安全に関わる諸問題
日系企業の安全に関わる問題は発生していません。

以上